

記載例：単独補助の HEMS と燃料電池システムとリチウムイオン蓄電池システムを申請する場合

様式第 1 号（第 5 条関係）

豊川市住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金交付申請書

豊川市長 殿

申請時点に
おける現住所

申請日は空欄と
してください。

年 月 日

事業に着手する 7 日前までに申請書
を提出してください（既築の場合）

〒442-8601
住 所 豊川市諏訪1丁目1番地
フリガナ トヨカ タロウ
氏 名 豊川 太郎
電 話 (0533)89-0000

豊川市住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金交付要綱第 5 条第 1 項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象設備の設置を予定する住宅等の所在地等（□に✓を記入）

☒ 申請者住所と同じ □ その他（以下に住所を記載）

所 在 地	
建築区分	☒ 新築 □ 建売 □ 既築

2 事業予定期間

着手予定年月日	令和8年 4月 20日
完了予定年月日	令和8年 5月 20日

3 補助対象経費及び交付申請額内訳

補助項目（□に✓を記入）	補助対象経費（税抜）	交付申請額
☒ ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）	80,000 円	10,000 円
☒ 燃料電池システム	1,000,000 円	40,000 円
☒ リチウムイオン蓄電池システム	1,200,000 円	50,000 円
☐ 自動車充電設備（V2H）	円	円
☐ 太陽熱利用システムⅠ	円	円
☐ 太陽熱利用システムⅡ	円	円
☐ 一体的導入（太陽光発電システム、HEMS及びリチウムイオン蓄電池システム）	円	円
☐ 一体的導入（太陽光発電システム、HEMS及び自動運転システム）	円	円
☐ 一体的導入（太陽光発電システム、HEMS及び自動運転システム、HEM）	円	円
☐ 一体的導入（太陽光発電システム、HEMS及び断熱窓改修工事）	円	円

申請する補助項目にチェックを入れて補助対象経費および交付申請額を記載してください。
※'一体的導入と単独導入を併用申請する場合、重複する設備については併用申請できません。
例：一体的導入（太陽光発電システム、HEMS及びリチウムイオン蓄電池システム）と単独導入のリチウムイオン蓄電池の併用申請は不可
※'一体的導入【ZEH】については他のメニューと併用申請できません。

4 交付申請額合計

交付申請額合計	1	0	0	0	0	0	円
---------	---	---	---	---	---	---	---

様式第 2 号（第 5 条関係）

豊川市住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金設置計画書

申請する補助対象設備にチェックを入れて補助対象設備の概要を記載してください。

申請者氏名 豊川 太郎

1 概要（□に✓と概要を記入）

- ☐ 太陽光発電システム（一体的導入及び Z E H）
 系統連系 ☐ あり ☐ なし
 そらいろラボ加入 ☐ あり ☐ なし
 （加入しない場合）理由

製造事業者名	モジュール型式	最大出力	枚数
		W	枚
		W	枚
		W	枚
		W	枚
出力合計		kW	

☒ ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）

製造事業者名	〇〇〇〇〇
機器型番	ABC-1230-DEF

☒ 燃料電池システム

燃料電池ユニット	製造事業者名	〇〇〇〇	機器型番	ABC-12
貯湯ユニット	製造事業者名	〇〇〇〇	機器型番	DEF-34
発電出力	0.70 kW			
☒ 一般社団法人燃料電池普及促進協会により登録されているものであること。				

☒ リチウムイオン蓄電池システム

製造事業者名	〇〇〇〇〇
パッケージ型番	ABC-1234
蓄電容量	4.3 kWh
☒ 国の補助事業における補助対象機器として一般社団法人環境共創イニシアチブ（S I I）により登録されているものであること。	

☐ 電気自動車等充給電設備（V 2 H）

製造事業者名	
型式	
☐ 国の補助事業における補助対象機器として一般社団法人次世代自動車復興センターにより登録されているものであること。	

☐ 太陽熱利用システム (☐ 自然循環型 ☐ 強制循環型)

製造事業者名	
型式	

☐ 高性能外皮等
国のZEH支援事業等

国のZEH支援事業等の	
-------------	--

☐ 断熱窓改修工事

製造事業者名	
型式	
熱貫流率	

見積書等と同じ金額、内訳を記載してください。

「②補助対象経費以外の経費」欄には保守費用等の補助対象経費以外の経費の合計を入力し、総事業費が見積書の総額と一致するように記載してください。

※一体的導入に該当しない事業で、見積内に太陽光発電システムを含む場合の太陽光発電システムに係る費用については「補助対象経費以外の経費」に計上してください。

3枚目の「総事業費内訳についての考え方」も参考にしてください。

2 総事業費内訳

①	補助対象経費	太陽熱利用システム		円
		ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS)	80,000	円
		燃料電池システム	1,000,000	円
		リチウムイオン蓄電池システム	1,200,000	円
		電気自動車等充電設備 (V2H)		円
		太陽熱利用システム		円
		高性能外皮等		円
		断熱窓改修工事		円
②	補助対象経費以外の経費		50,000	円
③			2,330,000	円
④			233,000	円
⑤			2,563,000	円

実績報告の際の領収書は、

・⑤の金額と一致するもの

・合計は一致しないが、①に記載の各設備経費が申請時と相違ないことが分かる内訳記載のあるものを用意してください。

3 施工業者

名 称	〇〇設備(株)
住 所	豊川市一宮町豊〇番地
担 当 者	愛知 花子
電話番号	(0533)93-〇〇〇〇

私は上記の施工業者を代理人として定め、補助金に関する手続を委任します。
(税務関係書類・住民票関係書類の取得を除く)

申請者氏名	豊川 太郎
-------	-------

総事業費内訳についての考え方

例1)

見積書	
設備名	単価
太陽光発電システム	1,000,000
HEMS	50,000
リチウムイオン蓄電池システム	800,000
その他工事等(対象外経費)	1,500,000
値引き額	-1,000,000
合計	2,350,000

計画書記載金額

※枠内の合計が申請経費の記載金額

1,000,000
50,000
800,000

→

→

→

→

500,000

→

2,350,000

例2)

見積書	
設備名	単価
太陽光発電システム	1,000,000
HEMS	50,000
リチウムイオン蓄電池システム	800,000
その他工事等(対象外経費)	1,500,000
値引き額	-2,000,000
合計	1,350,000

計画書記載金額

※枠内の合計が申請・報告の記載金額

500,000
50,000
800,000

→

→

→

→

0

→

1,350,000

○値引きがある場合は、補助対象経費から差し引くことを前提とします。

例1の場合

その他費用と値引き額を比べ、値引き額の方が少ないため、差し引きの後、その他費用を500,000円と考えます。

例2の場合

その他費用と値引き額を差し引きしてもまだ値引きできる金額があるため、残りの額を設備単価から引いて考えます。その場合は、一番単価の大きな設備から引きます。

この場合その他経費は「0」になるので記載不要です。

値引きにより補助対象設備の事業費が0円にならないよう、ご注意ください。